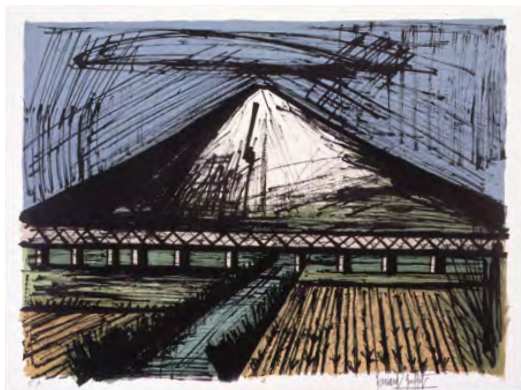




ベルナル・ビュフェ《富士山と汽車》1981年



竹崎和征《広重、りんごと富士》2009年 © KAZUYUKI TAKEZAKI



棟方志功「東海道横方板画 由比 海工事の柵」1963-1964年



歌川広重「東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺」1833-1834年

わたしたちの東海道 富士山のある 風景の魅力

荒木経惟
アンドレ・コタボ
池ヶ谷知宏
イケムラレイコ
歌川広重
竹崎和征
奈良美智
野口里佳
松江泰治
水木しげる
棟方志功
持塚三樹
山口晃
ベルナル・ビュフェ

2022年8月5日|金|ー12月18日|日|
ベルナル・ビュフェ美術館

開館時間：8月-10月 10:00-17:00 / 11月-12月 10:00-16:30（入館は閉館の30分前まで）
休館日：水曜日・木曜日（祝休日の場合は開館し金曜を休館：8/11、11/3、11/23は開館、8/12、11/4、11/25は休館）
入館料：大人1,000円（900円）/ 高・大学生500円（400円）/ 中学生以下無料
※（ ）内は20名様以上の団体割引
主催：ベルナル・ビュフェ美術館・静岡新聞社・静岡放送 特別協賛：スルガ銀行
後援：静岡県教育委員会、長泉町教育委員会、清水町教育委員会、裾野市教育委員会、沼津市教育委員会、三島市・三島市教育委員会

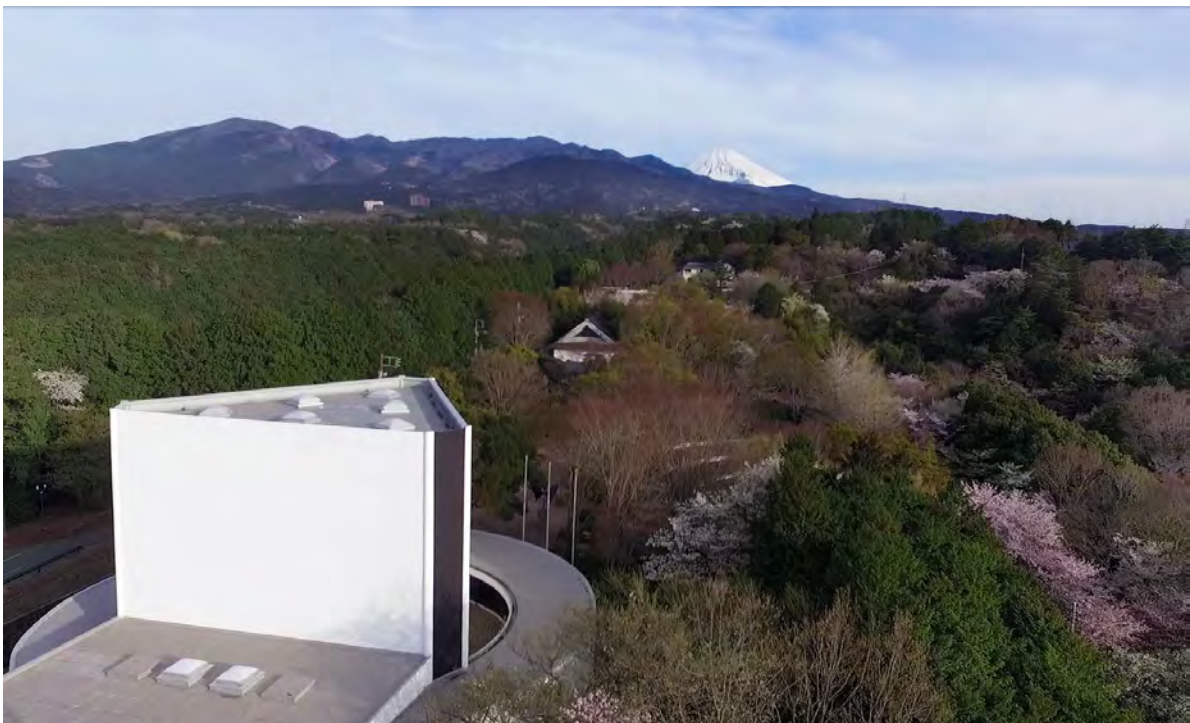
HIGHLIGHTS

【展示概要】

古今の芸術家が描いた東海道の風景。それを見る人もまた、それぞれの「東海道」と「富士山のある風景の魅力」を再発見。

古くから東西をむすぶ幹線道路だった東海道。江戸時代には人馬と情報の行き交う五街道のひとつとして整備され、江戸時代の後期には「旅ブーム」の中心たる街道として栄えました。現代の日本においても、当時の面影を残す旧街道から新幹線まで、「東海道」はわたしたちの旅とともにあります。

そんな東海道の旅の道中において、昔も今もひとときわシンボリックな存在、それが日本一の山・富士山です。富士山は、大いなる厄災をもたらす恐怖の存在であると同時に、仰ぎ見るその偉容によって、地上と「あの世」をつなぐ神聖な場所としてあがめられ、東海道を旅する多くの人によろこびを、そして古今の芸術家にインスピレーションを与えてきました。ベルナール・ビュフェ美術館もまた、そんな富士のすそのにあることを特色のひとつとする美術館です。本展覧会では、「富士山のある風景の魅力」を表現した作品を通して、古今の作家それぞれの視点をお楽しみいただきます。その出会いが、作品を見る人にとっての東海道、そして富士山のある風景の魅力をあらためて発見する機会となれば幸いです。



ベルナール・ビュフェ美術館南側から富士山をのぞむ（2015年春ドローンにて撮影）

HIGHLIGHTS

【展示作品】

江戸時代から現代まで、芸術家たちの「東海道」が競演

出品作家：荒木経惟 アンドレ・コタボ 池ヶ谷知宏 イケムラレイコ 歌川広重
 竹崎和征 奈良美智 野口里佳 松江泰治 水木しげる 棟方志功 持塚三樹
 山口晃 ベルナール・ビュフェ

古今の14名の作家による「東海道」「富士山」のある風景を描いた作品約100点が競演します。
 歌川広重の「東海道五拾三次」をはじめ、高度成長期の日本の東海道を描いた棟方志功の
 「東海道棟方板画」、ベルナール・ビュフェ、アンドレ・コタボといったフランスの画家たち
 による富士、そして現代を生きる作家たちによる東海道と富士山をご覧ください。
 版画、油彩、水彩、写真、立体など、さまざまな表現をお楽しみください。

【イベント・ワークショップ予定】

参加して楽しむ「わたしたちの東海道」

ワークショップ「かんたん カラフル版画」

開催日：2022年8月20日、21日、9月10日、11日、10月22日、23日
 （すべて土・日です）

時 間：どの日も14時30分～16時00分

会 場：ビュフェこども美術館

参加費：500円（大人と高・大学生の入館料は別）

対 象：どなたでも（大人歓迎）かんたんな方法で版画づくりを体験します

定 員：5組（1組は4名まで）要予約（※予約は開催日の一か月前より受け付け）

スペシャルトーク『江戸から現代までつづく“わたしたちの東海道”』

会 場：ベルナール・ビュフェ美術館別館1階

講 師：橋本敬之（伊豆学研究会理事長・公益財団法人江川文庫学芸員）

開催日：2022年10月16日（日）14時00分～15時30分

参加費：入館料のみ

定 員：30名 要予約（※予約は開催日の一か月前より受け付け）

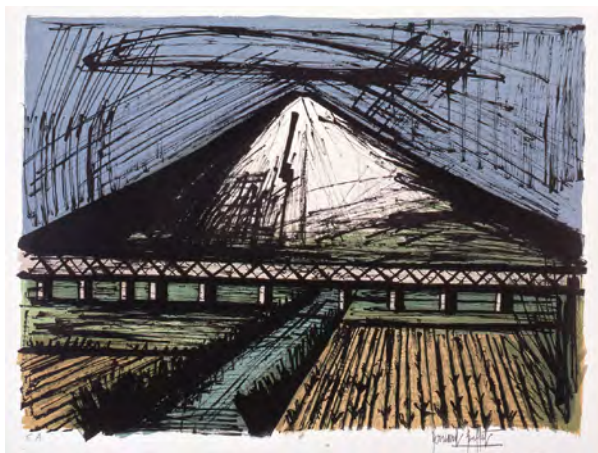
最新の情報は公式ウェブサイトでご確認ください。
<https://www.clematis-no-oka.co.jp/buffet-museum/>

【広報用画像資料】

広報用にお使いいただける画像をご用意しています。
お申込み、お問い合わせについては次ページをご覧ください。
クレジット表記は各画像下の内容をご利用ください。



1 歌川広重「東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺」
1833-34 年



2 ベルナール・ビューフェ 《富士山と汽車》
1981 年



4 竹崎和征《広重、りんごと富士》2009 年
©KAZUYUKI TAKEZAKI



3 棟方志功
「東海道棟方板画 由比 海工事の柵」
1963-64 年



5 イケムラレイコ
「Hiroshige series」2013 年
© LEIKO IKEMURA

【広報用画像資料申し込み用紙】

前ページ掲載の作品について画像資料（デジタルデータのみ）をご用意しています。

ご希望の場合は□にチェック ☒ を入れ、必要事項をご記入の上、FAXにて055-987-5511まで、
あるいは必要事項と画像の番号をE-mailにてinfo@buffetmuseum.or.jpまでお申し込みください。

お願い ・クレジット表記は前ページ画像下の情報をご利用ください。

・掲載誌一部をご送付ください／掲載サイトのURLをお知らせ下さい。

・取材にご来館くださる場合は事前に担当者までご一報ください。

貴媒体名

掲載号

発売・公開日等

年

月

日

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail

ご住所

- ☐ **1** 歌川広重「東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺」1833-34 年
- ☐ **2** ベルナール・ビュフェ 《富士山と汽車》1981 年
- ☐ **3** 棟方志功「東海道棟方板画 由比 海工事の柵」1963-64 年
- ☐ **4** 竹崎和征《広重、りんごと富士》2009 年 ©KAZUYUKI TAKEZAKI
- ☐ **5** イケムラレイコ「Hiroshige series」2013 年 © LEIKO IKEMURA

FAX : 055-987-5511 / E-mail : info@buffetmuseum.or.jp

【お問い合わせ】

展覧会担当：杉崎（すぎざき）
雨宮（あまみや）
井島（いしま）

ベルナール・ビュフェ美術館
静岡県駿東郡長泉町東野クレマチスの丘 515-57
TEL 055-986-1300
info@buffetmuseum.or.jp

GENERAL INFORMATION



ベルナール・ビュフェ美術館 <https://www.clematis-no-oka.co.jp/buffet-museum/>

所在地 〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘 515-57 TEL 055-986-1300 FAX 055-987-5511
 入館料 一般：1,000円（900円）高・大学生：500円（400円）中学生以下：無料（ ）内は20名様以上の団体割引
 休館日 水曜日・木曜日（祝休日の場合は開館し、続く金曜を休館／8/11・11/3・11/23は開館し、8/12・11/4・11/25を休館）
 ※公式サイトでのご確認をお願いいたします
 開館時間 10:00-17:00（3月-10月）／10:00-16:30（11月-2月）入館は閉館の30分前まで
 アクセス 自動車の場合 新東名・長泉沼津 I.C. または東名・沼津 I.C. →伊豆縦貫道（東駿河湾環状道路）→長泉 I.C. 出口
 R246を右折／「城山」交差点左折／静岡がんセンター方面へ（新東名長泉沼津 I.C. より約5km）
 電車の場合 JR東海道線〔三島駅〕下車 北口／新幹線口・バス3番乗り場発
 無料シャトルバス『クレマチスの丘』行き（10:00-17:00 毎時00分発 所要時間25分）

※2022年度中に限り、休館日、開館時間が変更になっております。ご注意ください。

同時開催 企画展

線の画家

ベルナール・ビュフェ

その個性的な「線」で語られることの多いベルナール・ビュフェ。ベルナール・ビュフェ美術館収蔵の幅広い年代にわたるビュフェ作品100点超で、画家の生涯をたどりながら、その線の魅力と変遷を見つめます。

2022年3月12日(土) - 2023年3月26日(日)

前期 2022年3月12日(土) - 2023年9月27日(火)・後期 2022年10月1日(土) - 2023年3月26日(日)
 （一部展示作品の入れ替えを行います）